

# New! ☆職員紹介☆



4月より博物館長として着任しました比嘉悦子（ひが・えつこ）です。民族音楽が専門で、これまでに宜野湾市のわらべうた・民謡調査、綱引き調査などに加わり平成6年より文化財保護審議会委員をつとめて来ました。宜野湾市立博物館は平成11年6月1日に開館して、今年が13年目の年を迎えます。昨年には念願だった博物館友の会も発足して市民の皆様と触れ合う機会も増えてきました。

「地域に根ざし、地域に学び、地域に奉仕する博物館」として今年もさまざまな特別企画展、市民講座、「わらべ一体験じゅく」等が準備されていますが、その中の一番の目玉は「宜野湾50～Ginowan City 50<sup>th</sup> anniversary～」という特別展示会（7/25～8/26）です。本年は日本復帰40周年、そして1962年の宜野湾市制施行から50年目の記念の年に当たります。戦後宜野湾の移り変わり、そして特に市制50年の歩みを復帰40周年の歴史とともに考える意義ある展示会になることでしょうか。是非ご来館下さり、皆様のご意見をお聞かせ下さい。私も皆様と共に学びながら頑張りたいと思います。



平成24年度から博物館市民講座や、ホームページ更新等を担当することになった、玉城彩華（たましろ・あやか）です。博物館で仕事をするのは初めてですが、宜野湾市の歴史や文化を学んで行きながら仕事を覚えていきたいです。

6月から2月までは毎月市民講座があるので、市民の方々が毎回楽しんで参加できるようにがんばります。また、博物館に関する情報も随時ホームページにUPしていこうと思いますが、誤った文章が掲載されていたり、なにか改善点等ありましたらご連絡ください。

初めての業務が多いので色々至らない点もあるかとは思いますが、色々なことを学びながら成長していこうと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。



今年4月から博物館の嘱託職員学芸担当となりました 武智方寛（たけち・みちひろ）です。香川県出身で、この3月までは金武町教育委員会で金武町史「民俗編」編さん嘱託員として勤務していました。

学生時代以来10年ぶりの宜野湾ですが、学生として勉強する立場ではなく、「宜野湾の自然と文化」、そして「自然と人間のかかわり」を知ってもらう場所で勤務するという責任のある立場となりました。

宜野湾市立博物館では、時期にあわせてさまざまな企画展示や、子供向けから大人向けの講座を、年間通じて積極的に開催してきました。本年度も「ねたての都市」宜野湾の歴史と文化を、市民の皆さんにご紹介していきますので、よろしくお願ひします。



博物館職員



市史編集係  
5月1日より博物館へ  
引越してきました☆





今年、2012年は、宜野湾市が誕生して50周年、沖縄が本土復帰をして40周年という、とても記念すべき年なのです。博物館では、夏に特別展を開くことになっています(8ページの年間計画をみてね)。

そこで、少しだけお勉強!! 50年前は今とどう違うのか?? 本土復帰したことで何が変わったのか?? ここでは、人びとの生活に注目してお勉強していきます!!

## 宜野湾市制50周年

かつて宜野湾市は、「宜野湾村」でした。しかし、人口の増加や村の発展によって、1962(昭和37)年、村から「市」になりました。宜野湾市の誕生です。当時の暮らしの様子はどうだったのか??  
 当時(昭和30年代)といまをくらべてみましょう♪

1962 (昭和37) 年7月1日  
 ↓  
**“宜野湾市”** が誕生!!



### 当時の家

昭和30年代は、戦後、次第に豊かになっていった時代である。特に、電化製品の登場は人びとに驚きをあたえ、テレビ・冷蔵庫・洗濯機は、「三種の神器」と呼ばれ、暮らしを一変させた。

せんたくき 洗濯機

以前の洗濯といえば、井戸や湧き水でタライと洗濯板を使っていたため、昭和30年代に電気洗濯機が普及したことで、洗濯が劇的に楽になった。

テレビ

昭和30年代ごろから普及したテレビは人びとに驚きをあたえた。家族全員が集まり、大相撲・プロ野球・プロレス観戦を楽しんだ。家族団らんの中心にあったのがテレビだった。

特別展にもあそびにきてね♪

### 一銭まちやー

いわゆる駄菓子屋のこと。駄菓子だけでなく生活用品から食料品までなんでもあり、子どもから大人まで多くの人びとにとってなじみの深い場所であった。子どもにとっては、おもちゃやおかしであふれている魅力的な場所であった。



## 本土復帰 40周年

1972 (昭和47) 年5月15日  
 ↓  
**“沖縄本土復帰”**

第二次世界大戦後、アメリカの支配下にあった沖縄県も、1972年、ついに!! 日本本土に復帰することができました。それにより、人びとの生活にも変化ができたのです……。

### ① “ドル” から “円” に お金が変わった!!

▲当時、ガソリンスタンドでは、まだ円にならない人たちのために、上のようなレート表がはられていた。

40~50代以上の人たちは、ドルを使っていたんだよ!!

ドル	円	ドル	円
0.5	3.4	100	2.2
1.0	6.8	200	4.4
1.5	10.2	300	6.7
2.0	13.5	400	8.9
2.5	17.0	500	11.1

### ② 車が右がわ通行から 左がわ通行へ

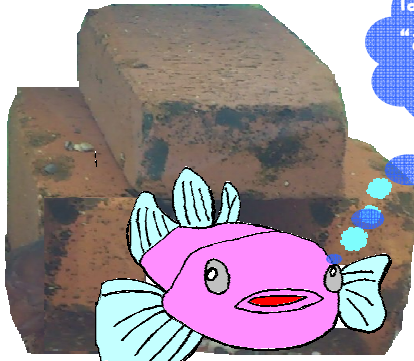
※3ページに写真があるよ!!

左がわ通行の初日、なれないためか、交通事故が82件もおこってしまったそうです。



### はくぶつかんの おさかな たち

ほけーっとした顔でのんびり動く、見ていただけ  
いやされるお魚が、はくぶつかんにはいるんだよ♪あま  
り動かないので、「生きてる??・・・」とよく聞かれ  
るけど、元気にエサも食べているので心配しないでね。  
では、お魚の紹介をしていくよ!!



はくぶつかんには  
“おさなクイズ  
コーナー”もあるよ



### ホシマダラハゼ

ホシマダラハゼは、日本一!!大きなハゼな  
のです。普通のハゼは5~15センチなのに  
たいして、ホシマダラハゼはなんと!! 最大で  
30センチもあるのです。海と川の水が混じ  
りあう場所(汽水域)に住んでいます。

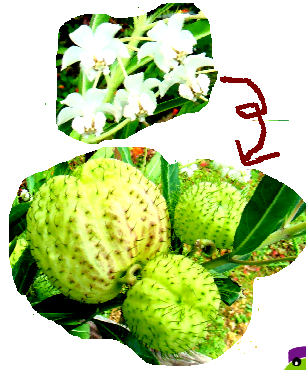


### ミニバラ

(正式名: ミニチュア・ローズ)

バラの中では一番小さく、普通のバラ(10  
~15cm)に比べて、ミニバラの大きさは  
平均3~5cm。最近では、種類も多くなり、  
割と大きめなミニバラも出てきましたが、小  
さいバラとして人気があります。

### はくぶつかんの お花たち



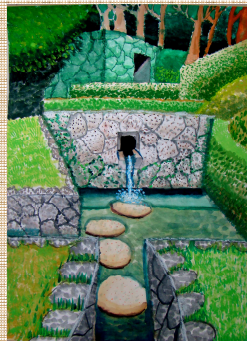
### ふうせんどうわた 風船唐綿

風船のようなユニークな形をした、南ア  
フリカ原産のお花。白い花が咲き、そのお花  
が落ちた後に、実をつけ、その実が風船のよ  
うな形になります。秋の終わりごろになら  
ば、実がカパッと割れ、中から綿毛とタネが  
出てきます。

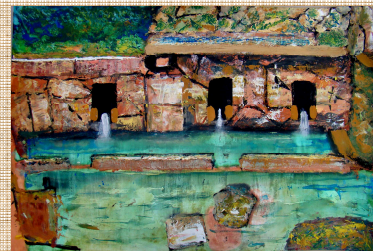


はくぶつかんを見学したあとは、記念にスタンプを押  
してみませんか??はくぶつかんのイメージキャラクター  
「天女ちゃん」と、真志喜安座間原遺跡から発見された  
「蝶形骨製品」のスタンプがあるので、ぜひぜひみんな  
もあそびにきてね♪

## 第21回 ぎのわんの 文化財図画作品展



あなたのまわりにある  
湧き水・綱引き・獅子舞などの  
文化財を絵にかいてみよう!!



↑第20回 教育長賞受賞作3点

- 対 象 🌞 宜野湾市に住んでいる小学生3~6年生・中学生
- 画 材 🐛 4つ切り画用紙のみ! クレヨン・水彩・アクリル仕上げなど自由
- 出 品 🍉 1人1点のみ。作品は夏休み明けに、各学校の担任に提出してください。

作品展開催期間 🚢 平成24年10月3日(水)~10月21日(日)  
午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

場 所 🖍 宜野湾市立博物館 企画展示室

問合せ: 宜野湾市立博物館 870-9317

展示会



市民講座

【慰霊の日写真パネル展】 6月13日(水)～7月1日(日)

『沖縄戦と宜野湾(仮)』

沖縄戦について、宜野湾を中心に写真パネルを通して戦争と平和について考えます。

【夏の特別展】 7月25日(水)～8月26日(日)

『宜野湾50 ～ Ginowan City 50<sup>th</sup> anniversary ～』

2012年は市制50周年と、沖縄本土復帰40周年にあたります。その節目をとおして、本市の変遷、市民のくらしの移り変わり等を紹介しします。

【企画展】 9月12日(水)～9月30日(日)

『ぎのわんの地名展(仮)』

2006年から2011年に市内17カ字を対象に行った地名調査の成果を紹介しします。

【学校との共同企画展】 10月3日(水)～10月21日(日)

『ぎのわんの文化財図画作品展』

市内小学校(3～6年)、中学生が描いた宜野湾市内の文化財を紹介しします。

【企画展】 10月31日(水)～12月2日(日)

『埋蔵文化財企画展(仮)』

市内に分布する遺跡から発掘成果を公開しします。

【地域との共同企画展】 2月6日(水)～3月3日(日)

『ぎのわんの“字”展～大謝名編～』

博物館と地域との共同で行う企画展。地域の歴史、文化を紹介し故郷の大切さと温かさを感じる展示会。

① 壕めぐり【野外観察会】

講師：新垣 義夫 (市立博物館協議会 会長)

日時：6月24日(日) 13時～16時

② 宜野湾の50年

講師：仲村 元惟 (宜野湾市史編集委員会 委員長)

日時：7月29日(日) 14時～16時

③ 街の移り変わり【野外観察会】

講師：平敷 兼哉 (宜野湾市立博物館 学芸係長)

日時：8月19日(日) 13時～16時

④ 地形と地名【野外観察会】

講師：崎浜 靖 (沖縄国際大学 准教授)

日時：9月23日(日) 9時～12時

⑤ 軽便鉄道跡めぐり【野外観察会】

講師：知念 勇 (宜野湾市立博物館 前館長)

日時：10月28日(日) 13時～16時

⑥ 文化財関連講座

講師：未定

日時：11月11日(日) 14時～16時(予定)

⑦ 古酒づくり

講師：島袋 正敏 (山原島酒之会)

日時：12月9日(日) 14時～16時

⑧ ぎのわんの苗字

講師：武智 方寛 (宜野湾市立博物館 嘱託員)

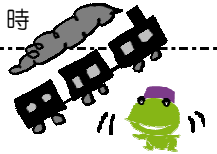
日時：1月27日(日) 14時～16時

⑨ めぐてい！イガルーシマ【野外観察会】

講師：大謝名区先輩方

平敷 兼哉 (宜野湾立博物館 学芸係長)

日時：2月24日(日) 13時～16時



【わらば一体験じゅく】

学校や家庭では味わえない、身近にある自然や歴史、文化など1年間を通して一緒に学びます。

対象：小学校5～6年生 30名(抽選)



【社会科見学\* 出前講座】

当博物館では、見学だけでなく学校の授業に合わせた体験学習や、博物館職員が学校に出向いての出前講座も行っています。どちらも、事前の打合せが必要になりますので、早目にご連絡下さい。

■ 開館時間：9時～17時まで(入館は16時半まで)

■ 休館日：毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日) 祝日(文化の日は除く)

※ 火曜日と祝日が重なった時は、翌日の水曜日にも休館です。

その他、臨時休館になる場合もあります。

